

2010年 実技研修会 報告

8月9日、アウリーナ大阪において今年の実技研修会を行いました。猛暑の中、今年も多くの方が熱心に参加されました。昨年度まで各教材30人の定員だったのですが、今年は象の会の方が「参加したいという方をお断りすることは避けたい」という思いを出されたので、各教材50人計150人の定員としたところ、136名の多くの方の参加となりました。

午前中は、例年は今まで作られた教材の紹介などをしてもらっていましたが、今年はそれに加えて、「ぜひ、子どもたちと一緒に体を動かしたり楽しんだりできることをやってみましょう」ということで、みんなで一緒に体を動かしてのゲームや遊びを行いました。



しかし、昨年と同じ会場だったため、講師の方の思い(皆で身体を動かして…)とのミスマッチがあり、参加された方に窮屈な思いをさせてしまいました。とはいうものの参加者の多くの方からは「よかった」と言っていたでき、ホッとしています。

午後は、前半3つ、後半3つに分かれての教材作成でした。参加された方みなさん熱心に制作されておられました。別紙にアンケートに書かれたことをまとめてますので、それもあわせてご覧ください。



毎年、参加者の熱気あふれる実技研修ですが、いくつか課題もあり、来年・将来へ向けて考えなければならないことがあります。参加される方にご協力ご理解を求めなければならないこともあるかと思えます。

今年、教材によって参加希望の方の数にかなり偏りがあり、一部の教材は定員を超え、お断りせざるを得なくなりました。以前から参加しているので、作ったことのある教材ではなく、他を… という方がかなり多数おられました。

参加申し込みについては、FAXが便利だという参加者の方が多いようです。しかし、受付を行う事務局にとって申し込み方法が複数に及ぶということの負担が過重となってきました。FAXの送信トラブルも毎年みられます。できれば今後はインターネットのホームページでの申し込み受付を主としたく考えております。ご理解をお願いします。

そして最大の課題があります。象の会の方の実践や思いを、教職員の私たちが、どのように受け止め広げていくか、ということです。象の会の方に教えてもらうだけでなく、教えてもらったことをもとに、新たに実践を作り上げていくことが必要であり、それを交流できるようにしていきたいです。今後、より広がりを持った実技研修会が行えるように考えていきたいです。

2010年 実技研修会

参加された方のアンケートから…

アンケートに多くのことを書いていただき、有難うございました。
今後の参考にさせていただきたいと思います。

準備物について連絡が十分にできていなかったこと、必要量を適切に知らせてほしかったこと等のご意見が多くありました。道具の用意についても同様でした。来年度以降、十分に講師の方と打ち合わせて、適切なお知らせができるよう努めます。

実は、象の会の皆様は、この研修会に向けて非常に多くの時間をかけて準備・ご努力をしてくださっています。参加された方が難しく感じることはないように、作品の製作のかなりの部分を事前に行ってくださいしています。

時には、研修会の直前になって、「こうすればいい」というような工夫を見つけられることもあるようです。その場合、事前の案内文の説明とは異なる場合も生じるかもしれません。できるだけ早く案内文を出したいとは思いますが、講師の方が直前まで工夫をされることには敬意を表したいです。

同時に、材料等についても、より優れた作品、使いやすい作品作りをめざしてのものなので、一般には市販されていないものや入手方法が限定されているものもあります。そのような材料入手のご苦労については感謝の気持ちでいっぱいです。

それゆえに教材作成の費用が、やや高額なものもありましたが、ご理解ください。すべて教材の作成材料の実費のみです。象の会の方が、実費のみしか受け取られず事前準備を入念にしてくださっていること感謝です。

講師の方は、参加者の方が、よりよく教材を作り、活用していけることを願っておられます。その気持ちをこめて、熱心に説明していただき、作品完成まで責任を持ちたい、と考えておられます。そのため、「材料だけほしい、家で作りたい」という要望には基本的に応じておりません。あくまでも象の会の方の熱意ゆえであることご理解ください。

午前の部 今までの教材の紹介、みんなで身体を動かして…

◎ 最初は緊張していましたが、みなさんとゲームをこしていくうちにほぐれてきました。きっとクラス分けしたばかりの子ども達もこんな気持ちなんだろうと改めて思いました。今日したゲームをクラスでもしたいと思いました。

- ◎ 教師としての工夫もさることながら、保護者の気持ちからどうしていくかという視点をも、考えていることに非常に考えさせられました。
- ◎ 全ての教材を見せて頂けただけでなく、子ども達が楽しめるゲームを教えていただいたのでとても参考になりました。早速2学期から取り入れていこうと思います。通常学級の友達とも一緒に楽しめるものだったので嬉しいです。
- ◎ ゲームの取り組み方（どんな子にとっても楽しめるゲームへの参加）の工夫、とても楽しかったです。いく部分かは実際に活用させてもらっている（玉入れ→玉が少ない方が勝ち）ものもあります。子ども達にとって、どの力を使えば楽しめるかというとらえ方を、自分自身が大切にしていきたいと思います。
- ◎ 重度の障害をもつ子ども達と、少しルールが分かる子ども達の両方が楽しめるゲームを教えてくださいました。ありがとうございました。
- ◎ いすとりゲーム、輪くぐり、玉入れ、なかなか思いつかない工夫、しかも友だちが意識できる工夫なので、さっそく取り入れてみたいと思います。
- ◎ 想定外のことが多く、運営される方々が大変だったと思います。アイデアを色々頂き、参考になりました。ありがとうございました。
- ◎ フラフープの実技がよかったです。玉入れでやぶれる、やってもよかったです。
- ◎ たくさんのゲームを実際に動きながらさせてもらって皆さんと一緒に楽しむことができました。「今から何するんだろう？」という子どもが感じるのと同じドキドキ感を体験しました。ぜひ、支援学級の子も達と一緒に、そして通常学級の子も達とも一緒にやってみたいです。
- ◎ 教材の紹介では「当てもの」「てさぐり BOX」など、すぐにでも作ってみようと思っています。玉入れも新聞が破れた瞬間は、「あっ」と感動でした！！壁のあっちとこっち、それと、フープくぐり、やってみます！！楽しい時間でした。
- ◎ ちょっとしたことですが、着眼点がすごく「なるほど」と思えるアイデアが色々あってよかったです。できればレシピなんかがあったらとても嬉しかったですけど…。
(本の中にでてるのかな?)
- ◎ 作品紹介もゲームの紹介も楽しくよかったです。特にゲームの方は、紹介された時におっしゃっておられたように、上手に走れない子や、ボディーイメージが十分でない子、動作の遅い子など、いろんな子たちが一緒に遊んだり活動したりするのに、とても役に立ちそうです。玉入れもとても楽しそうで一目で勝敗が分かるのも助かります。2学期からさっそくためしてみます。ありがとうございました。
- ◎ 楽しかったです。動きの少ない子や理解のしにくい子でも参加できるゲーム→みんながよく知っているゲームでも工夫次第でいろんな子が参加できるものになる、というのがとても新鮮でした。先生方の長い実践に裏付けられた技というか、子どもの実態に応じた工夫がすばらしいと思いました。

午後の部 教材の作成、実際に作ってみて…

- ◎ ひさびさに工作をして自分の手先が思うように動かず、うまく作れない生徒の気持ちに気づくことができたと思います。
- ◎ 初めの紹介のときより、実際自分で作ってみるととてもおもしろいです。子どもたちも喜ぶと思います。こんな簡単な作りでできるなんてスゴイ！！と思います。
- ◎ 教え方も丁寧で子どもの視点に立って下さっていたので安心して作成できました。わからない所は親切に教えて下さってありがたかったです。

(かなコロリン)

- ◎ 外側の本体を貼りつけるのは苦心しましたが、出来たカードが上手くひっくり返って出てきたので良かったです。
- ◎ 微妙なカーブが難しかったです、50音のカードも用意されていて学校で使ってみようと思いました。

(カレンダーの歌)

- ◎ 持ち物に両面テープがなかったため、かなコロリンのテープを使ったらなくなってしまいました。歌の楽譜もあるとなおよかった、と思います。でも教材はかわいいです。
- ◎ 画用紙にカラーコピーは難しいですか。もし可能なら絵を左右半分ずつにして、(ex 1月左と12月右、1月右と12月左、2月の左と11月右などで)両面コピーして半分に折って製本できないでしょうか。テープの貼り合わせが難しかったので。
- ◎ 季節も感じられ、歌を通して言葉等も多くのことが学べる教材だと思いました。クラスの子の喜ぶ顔が目にかびます。
- ◎ 絵をすべてコピーして下さっているのに感謝。絵を描けない者にとってはありがたいことです。

(反対ことばパタパタ)

- ◎ 初めははる場所などがややこしいと思いましたが、できあがり、絵を入れると変わるのがおもしろかったです。中に入れるカードを作って工夫したいと思いました。
- ◎ 2つだけでなく、4つくらい連なったものが作りたかった。
- ◎ 4枚パタパタ…私たちが制作のどこでつまづくかどのようにしたら分かりやすいか(シールなど)工夫して考えて下さる姿勢に支援教育の原点を見せてもらったような気がします

(数えエイド&タイマー)

- ◎ これだけの人数だと難しいとは思いますが、基板のハンダ付けからチャレンジしてみたいです。おもちゃの設計図を見て作ろうと思うのですが回路がよく分からないのでいつも断念しています。教えて頂けると嬉しいです。
- ◎ デジタル表示のできる教材を自分で作れるのか?と不安でしたが99%完成したものを

用意していただけて良かったです。数えエイドの工夫が子ども達に楽しめると感じています。

- ◎ 数唱の苦手な子、集中出来ない子、いろいろな子に使える教具が作れて良かったです。
- ◎ 教材の絵がどれも魅力的でみんな欲しくなりました。応用できるようにPCを活用すること、絵本なども教えていただけて良かったです。

(ぱたぱた)

- ◎ 以前も「ぞうくんのおさんぼ」のパタパタを作ったのですが……よく分からないままでしたので、今回は「パタパタを習得するぞー！！」とやる気満々で参加させてもらいました。完成に超満足です。ありがとうございます。クリスマス会で使います！！

実技研修会の運営などについて

- ◎ 暑い中、私達のためにきめ細やかな準備をしていただき有難う御座いました。一から自分一人で作るというのはとても大変な事です。ここまで準備していただいて良い教材を作る事ができ嬉しいです。以前作らせてもらったブラックボックスたいへん重宝しています。〈用意するもの〉どれだけの量が必要なのかも書いておいてほしかったです。
- ◎ 毎年この実技研修会を楽しみにしています。実際に作った教材がとても役に立っています。紙テープの出てくるくす玉は誕生会で誕生日の子がひっぱれることも楽しみな出し物になり、やめられなくなっています。今年入学した1年生には、かなコロリンが活躍しました。興味を持って絵をてがかりに文字を想起しています。数字の歌は朝の会ですることが多いですが、とても不思議なので、みんなの視線が集まっています。先生方、これからも身体に気をつけられ、子どもの目線に立った教材を工夫し是非教えて下さい。教材材料を分けていただきたいです。先生方への連絡先等が分かればうれしいです。
- ◎ 席が後ろの方で説明が聞こえにくく、やっとできたら次に進んでいくという感じで、少しあせりました。
- ◎ 参加会場で名札があると他校の方と交流になるきっかけになっていいと思います。

こんな研修を受けてみたい など

- ◎ SSTやエンカウンター具体的な指導法。
- ◎ 支援に入らないボーダー（境界線）児童について学びたいです。
- ◎ 今回の様に、なかなか本や現場の中だけでは学べない具体的なノウハウを研修できるような場が有難いです。又「手遊び歌」や子ども達の注目するようなダンス等ありましたら是非お願いしたいです。今回は本当に有難うございました。
- ◎ 支援学級の実践について交流したいです。時間割、とりくみ、あゆみ、交流 etc…自分でやってる部分があるので、共有できる場があると大変嬉しいです。

- ◎ 以前聞かせて頂いた作業療法の先生（お名前は忘れてしまいましたが）の子どものとらえ方の話がとても良かったので是非もう一度して頂けたらと思います
- ◎ 支援学校のものに限らず通常学級や支援学級に在籍する児童に向けた教材やアイデア等を紹介して頂けたら…と思いました。（今回の研修から応用できるものもいくつかありましたが）
- ◎ 尿漏れ、失禁の児童がいますが、タイマーの応用で楽しくトイレタイムができればなと思います。
- ◎ 教材の紹介を続けてして頂けると、自分も楽しく、すぐ使えてありがたいです。他に支援学級に入級はしていないが、援助の必要な子ども達への対応（リソースルーム）について、すぐに始められることを教えて頂けるとありがたいです。

最後に…

参加申し込みについて、今までFAXによる受付もしておりましたが、今後は、インターネットのHPからの受付のみとしていきたい、という事務局の考えに対し、多くのご意見をいただきました。ご理解いただける方が少なくなかったのですが、以下のように、FAXがいい、という方のご意見もありました。ご意見を参考にして、今後、よりよい方法と会の運営を考えていきたいと思います。

- ◎ 申込みはFAXでさせて頂きました。コンピューターを使うことにそれほど抵抗はないのですが、やはりFAXが手軽に申し込めるように思いました。象の会の先生方、運営の先生方が工夫して下さいのおかげで有意義な、あっという間の1日でした。ありがとうございました。持ち物は、さし・カッティングシートは書いてあれば準備出来たと思います。→前述のように、準備物は事前にできるだけ適切にお知らせできるように気をつけます。今後は、必要に応じて、HPの内容を更新して細かくお伝えできるようにすることを考えたいと思います。
- ◎ 申込みはFAX処理が大変とのことでしたが、FAX申込みの方が安心なのは…？と思います。メールで申し込みましたが第3希望まで書いて結局どの講座に決まったのか分からなかったのが少し不安でした。FAX、メールの分担をしてはいかがかと思えます。→HPから申し込まれた方には、自動送信で「受理しました」とお送りしています。定員を超えた、など事情がある場合、どの方法で申し込まれた方に対しても、数日以内に連絡さしあげました。
(参加状況は、HPに記載しました)
- ◎ FAXとE mailがあればFAX。理由は職場からE mailで申し込んだ場合、送信が学校（職場）のアドレスになり、その次何かの返信をいただく場合に都合がわるい。
→このような場合、通信欄に返信等の連絡先をご記入ください。